

日立シン・クライアント  
セキュリティPC

FLORA Se/FLORA bdシリーズ

**HITACHI**  
Inspire the Next

# FLORA bd



情報を持たないクライアント環境で、  
ビジネスに安心と自由を。

# FLORA Se



**uVALUE** with *Harmonious Computing*

# クライアントPCの情報漏えい対策を起点に、セキュアで快適なワークスタイルの変革へ。

シン・クライアントを活用した「FLORA Se/FLORA bdシリーズ」による徹底した情報漏えい対策

## セキュリティの強化

ハードディスクレスによる情報漏えい防止と個人認証によるなりすまし防止を実現し、企業の信頼を確保。

## ワークスタイルの改革

いつでもどこからでも自席のPC環境を呼び出して必要な情報を活用。

今やすべての企業に欠かせないクライアントPCの情報漏えい対策。

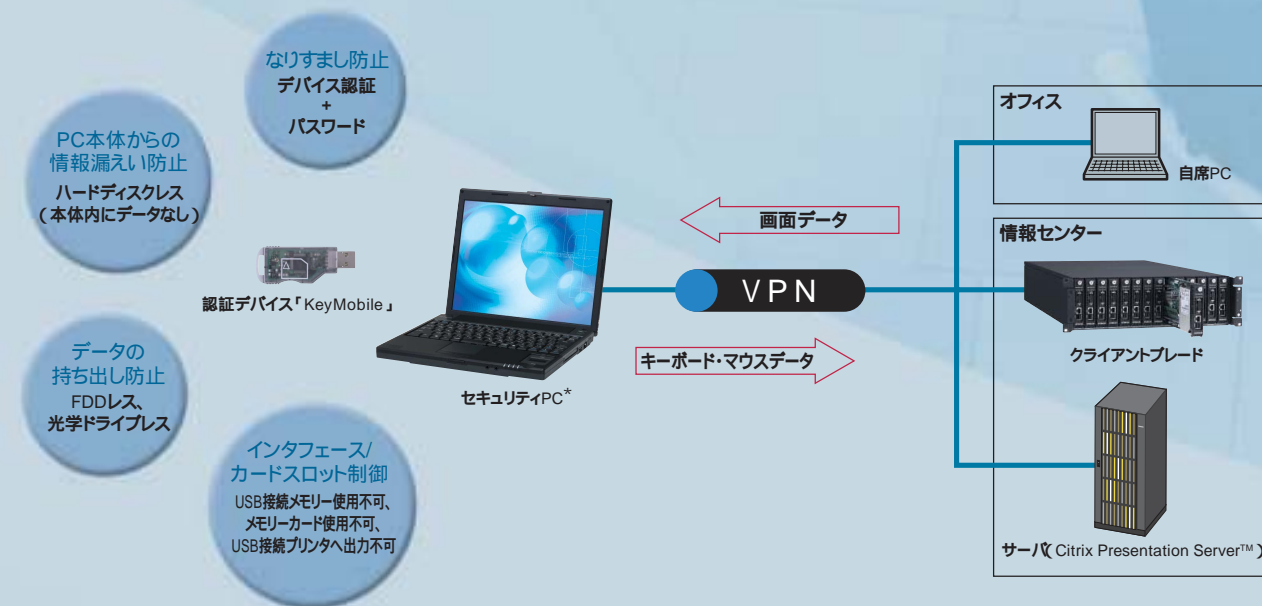
シン・クライアント技術を利用した日立の「FLORA Se/FLORA bdシリーズ」は、セキュリティの強化をはじめ、ビジネスにさまざまなメリットをもたらします。

ハードディスクを持たないセキュリティPC「FLORA Se」から、認証デバイス「KeyMobile」で本人認証を行い、オフィスのPCやサーバに格納されている情報へアクセス。セキュリティPCを万一紛失しても情報漏えいの心配がありません。

しかも、いつでもどこでも自席のPC環境を呼び出して必要な情報を利用できるため、ワークスタイルがぐんと自由に広がります。

クライアントPCの機能を集約するクライアントブレード「FLORA bd100」と組み合わせて情報管理を一元化すれば、システムの運用コストも軽減できます。

利用者に、システム管理者に、経営トップに、快適で自由なビジネス環境をお届けします。



\*セキュリティPCはスタンドアロンでは動作しません。オフィスのPCやサーバとネットワーク接続するためのシステム構築が必要となります。詳細は弊社営業までお問い合わせください。

強固なセキュリティの実現はもちろん、  
お客さまのニーズに合わせたPC環境を実現します。

## FLORA Se series



セキュリティPC「FLORA Seシリーズ」なら、  
モバイル環境にも対応できる多彩なラインアップ。

万一PCの紛失や盗難が発生しても、大切な情報の  
外部漏えいを防ぐ高いセキュリティを実現。持ち運び  
に便利なB5サイズノートタイプも用意し、モバイルでも  
セキュアに自席のPC環境を利用することができます。

ハードディスクレスで本体内の情報蓄積を防止。

OSにMicrosoft®Windows®XP Embedded を採用し  
内蔵フラッシュメモリーへのユーザー書込を抑止。紛失  
や盗難が発生しても情報漏えいの心配はありません。  
認証デバイスの利用とパスワード入力でなりすましを  
防止。また、指静脈認証装置を用意しています。  
インタフェースやカードスロットを抑制し、FDDや光学  
ドライブを搭載していないため、リムーバブルメディア  
を含むPCからの情報の持ち出しを防止します。

FLORA Se210[ RK1 ]



小型指静脈認証装置



## FLORA bd100



クライアントブレード「FLORA bd」なら、  
PCソフトを集約して、情報の一元化を実現。

通常のLANインフラを使用して構築できるブレード型  
PCとして国内初の製品。社内で個別に管理していた  
PCの情報をクライアントブレードに集約することで、  
情報を一元管理でき、コストの低減を支援します。また、  
セキュリティPCと組み合わせると通常のPCと同様の  
操作性が実現できます。

高密度設計を実現し、100台以上のPCをフルラックに  
集約できます。

セキュリティPCとの組み合わせにより、通常レベルの  
操作性を実現します。

「ブレードPCコントロールfor FLORA bd100」(別売)により  
クライアントブレードの運用を容易に実現。

- ・ユーザーのデータ資産を保全(統合ストレージ)
- ・ブレード障害時の復旧を省力化、迅速化(代替機自動割当/静的割当)
- ・初期投資コストの適正化(動的割当)

## FLORA Seシリーズラインアップ

モバイル環境からオフィスまで情報漏えいを防ぐ高いセキュリティを実現。

### FLORA Se210 モバイルモデル [ RK1 ]



#### 軽量ボディと長時間駆動を追求

薄型マグネシウム合金の使用により、約1kg<sup>\*1</sup>の軽量化を実現。さらに、省電力技術の採用で約7.9時間<sup>\*2</sup>の長時間駆動が可能。外出時や出張先でも余裕を持って業務が継続できます。

<sup>\*1</sup> バッテリーパック( SS )搭載、無線LANなしの場合です。  
<sup>\*2</sup> バッテリーパック( L )搭載、指静脈認証装置なしの場合です。

#### 指静脈認証内蔵とスマートカード対応

指静脈認証装置内蔵モデルを用意。偽造困難な指の静脈パターンを利用した生体認証により、強固なセキュリティを実現します。また認証デバイスとしてスマートカード( オプション ) を使用することも可能です。

対応するスマートカードの種類や制限事項は弊社担当営業までお問い合わせください。

### FLORA Se210 ベーシックモデル [ SL7 ]



#### 指静脈認証による強固なセキュリティ

指静脈認証装置内蔵モデルを用意。偽造困難な指の静脈パターンを利用した生体認証により、強固なセキュリティを実現します。モバイル環境でのセキュアな利用を促進します。



#### IEEE802.11a/b/gの無線LANに対応

IEEE802.11a/b/g準拠のインテル<sup>®</sup> PRO/Wireless 2915ABGを搭載し、快適なワイヤレス通信が可能。アンテナは液晶上部に内蔵することで受信感度の向上を図っています。

### FLORA Se330 スリムモデル [ BU1 ]



(縦置き専用)  
キーボード/マウスは標準添付

#### スリム化と低消費電力化を両立

幅45mmのスリムボディで従来機比約70%減の小型化を実現。同時に消費電力を従来機比約70%低減しました。またファンレスにより静音性を向上しています。

#### 指静脈認証とスマートカード対応

「指静脈認証装置」をオプションでサポート。偽造困難な指の静脈パターンを利用した生体認証により、強固なセキュリティを実現します。また認証デバイスとしてスマートカード( オプション ) を使用することも可能です。

対応するスマートカードの種類や制限事項は弊社担当営業までお問い合わせください。

#### 基本モデル仕様

形名	FLORA Se210 ( RK1 )		FLORA Se210 ( SL7 )		FLORA Se330 ( BU1 )
	指静脈認証装置なしモデル	指静脈認証装置内蔵モデル	指静脈認証装置なしモデル	指静脈認証装置内蔵モデル	
3年無償保証 1年無償保証	PC8RK1-X711111111 PC4RK1-X711111111	PC8RK1-X7111A11A PC4RK1-X7111A11A	PC8SL7-X711101111 PC4SL7-X711101111	PC8SL7-X7212011A PC4SL7-X7212011A	PC8BU1-X7111NA01 PC4BU1-X7111NA01
O/S	Microsoft <sup>®</sup> Windows <sup>®</sup> XP Embedded( SP2 )		Microsoft <sup>®</sup> Windows <sup>®</sup> XP Embedded( SP2 )		Microsoft <sup>®</sup> Windows <sup>®</sup> XP Embedded( SP2 )
CPU	VIA Eden <sup>™</sup>		インテル <sup>®</sup> Celeron <sup>®</sup> プロセッサー		VIA C7 <sup>™</sup>
周波数	500MHz		800MHz		1.0GHz
1次/2次キャッシュメモリ( CPU内蔵 )	1次:128KB( 命令用64KB+データ用64KB ) 2次:128KB		1次:64KB( 命令用32KB+データ用32KB ) 2次:なし		1次:128KB( 命令用64KB+データ用64KB ) 2次:128KB
システムバスクロック	400MHz		400MHz		400MHz
チップセット	VIA VN800+VT8237R-Plus		インテル <sup>®</sup> 910GMLチップセット		VIA CN700+VT8237R-Plus
メインメモリ	256MB( 固定 )( ビデオRAMと共用 )		256MB( 固定 )( DDR2 SDRAM, ビデオRAMと共用 )		標準256MB( 256MB×1 ) 最大512MB( 512MB×1 ) ( DDR2 533 SDRAM, ビデオRAMと共用 )
ディスプレイ	12.1型TFTカラー		12.1型TFTカラー		アナログ:1,024×768、1,280×1,024ドット( 1,677万色 )
表示解像度( 表示色数 )	1,024×768ドット( 1,677万色 )		1,024×768ドット( 1,677万色 )		アナログ:1,024×768、1,280×1,024ドット( 1,677万色 )
ビデオサブシステム	VIA VN800チップセット内蔵		インテル <sup>®</sup> 910GMLチップセット内蔵		VIA CN700チップセット内蔵
ビデオRAM	標準16MB( メインメモリと共用 )		最大128MB( ダイナミック・ビデオ・メモリ・テクノロジー/ノジ)による自動可変・メインメモリと共用 )		最大64MB( メインメモリと共用 )
ファイル装置	512MBフラッシュメモリ( セキュリティ確保のため書込不可 )		512MBフラッシュメモリ( セキュリティ確保のため書込不可 )		512MBフラッシュメモリ( セキュリティ確保のため書込不可 )
サウンド機能	AC97準拠、スピーカー内蔵		ハイ・デフィニション・オーディオ準拠、スピーカー内蔵		AC97準拠、スピーカーなし
拡張スロット( PCカード )	Type x1 CardBus対応( セキュリティ確保のため使用制限あり )		Type x1 CardBus対応( セキュリティ確保のため使用制限あり )		-
インタフェースコネクタ	USB2.0×2( セキュリティ確保のため使用制限あり )、アナログRGBディスプレイ×1、マイク×1、ヘッドフォン×1		USB2.0×3( セキュリティ確保のため使用制限あり )、IEEE1394×1( セキュリティ確保のため使用不可 )、アナログRGBディスプレイ×1、マイク×1、ヘッドフォン×1		USB2.0×4( セキュリティ確保のため使用制限あり )、シリアル( D-sub 9pin )×1 <sup>*1</sup> 、パラレル( D-sub 25pin )×1 <sup>*1</sup> 、キーボード( PS/2 )×1、マウス( PS/2 )×1、マイク×1、ヘッドフォン×1、ラインイン×1、ラインアウト×1、アナログRGBディスプレイ( ミニD-Sub 15ピン )×1
通信インタフェース	LAN 無線LAN <sup>*2</sup> モデム <sup>*3</sup>	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T自動認識( RJ45 ) IEEE802.11a( J52/W52/W53 )b/g準拠	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T自動認識( RJ45 ) IEEE802.11a( J52/W52/W53 )b/g準拠	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T自動認識( RJ45 ) データ最大56Kbps( V.90 )/FAX14.4Kbps( RJ11 )	-
指静脈認証装置/セキュリティチップ <sup>*4</sup>	セキュリティチップ TCG Ver1.2準拠	内蔵型指静脈認証装置、セキュリティチップ TCG Ver1.2準拠	セキュリティチップ TCG Ver1.1b準拠	内蔵型指静脈認証装置、セキュリティチップ TCG Ver1.1b準拠	-
キーボード/マウス	109A配列準拠キーボード86キー( キーピッチ:17.5mm、キーストローク:2mm )、マウスなし		109A配列準拠キーボード87キー( キーピッチ:18mm、キーストローク:2mm )、マウスなし		キーボード( PS/2接続、109A配列 )、マウス( PS/2接続、ホイール付 )
ポインティングデバイス	ポインティングパッド		シームレスタッチパッド		-
外形寸法 ( W×D×H ) (突起、凹み含まず)	270×222×30.5～36mm		275×223×23～30.7mm( バッテリーパック( S )搭載時 ) 275×246.5×23～30.7mm( バッテリーパック( M )搭載時 ) 275×265×23～30.7mm( バッテリーパック( L )搭載時 )		45×290×182mm( スタンド含まず )
質量	約1kg( バッテリーパック( SS )搭載時 ) <sup>*5</sup>		約1.27kg ( バッテリーパック( S )搭載時 ) <sup>*6</sup>	約1.27kg ( バッテリーパック( S )搭載時 ) <sup>*7</sup>	約2kg( 本体のみ )
消費電力( 最大/スタンバイ時 )	約13W( 39W/約0.6W )	約14W( 39W/約0.6W )	約19W( 58W/約1.9W )	約20W( 58W/約1.9W )	約18W( 37W/約2.3W )
バッテリー使用時間( JEITA測定法1.0 )	約3.4時間/約5.3時間/約7.9時間 ( 各バッテリーパック( SS )( S )( L )搭載時 )( 各バッテリーパック( SS )( S )( L )搭載時 )	約3.0時間/約4.7時間/約7.0時間 ( 各バッテリーパック( SS )( S )( L )搭載時 )( 各バッテリーパック( SS )( S )( L )搭載時 )	約2.5時間/約5.3時間/約7.3時間 ( 各バッテリーパック( S )( M )( L )搭載時 )	約2.1時間/約4.7時間/約6.3時間 ( 各バッテリーパック( S )( M )( L )搭載時 )	-
VCCI基準 <sup>*8</sup>	VCCIクラスB		VCCIクラスB		VCCIクラスB

<sup>\*1</sup> シリアル、パラレルコネクタは、出荷状態では使用できません。( セキュリティ確保のため )<sup>\*2</sup> 内蔵無線LANは日本国内の電波法に基づいて設計しています。海外での使用はできません。( 海外で使用すると罰せられる可能性があります )。IEEE802.11a規格による通信は、電波法により屋外での使用が禁止されています( 屋内のみ使用可 )。また、内蔵無線LANのアドホック通信はサポートしていません。内蔵無線LANは128( 104 )bit/64( 40 )bit暗号化機能をサポートしています。<sup>\*3</sup> 最大通信速度は、規格理論上の数値です。実際の通信速度は、使用環境により異なります。<sup>\*4</sup> ごまねに指静脈パターンを登録・照合できない場合があります。直射日光は避けてご使用ください。また、セキュリティチップの機能を使用するためには、ソフトウェアのカスタマイズが必要です。<sup>\*5</sup> バッテリーパック( S )搭載時は+約50g、バッテリーパック( L )搭載時は+約150g。<sup>\*6</sup> バッテリーパック( M )搭載時は約1.42kg、バッテリーパック( L )搭載時は約1.58kg。<sup>\*7</sup> バッテリーパック( M )搭載時は約1.41kg、バッテリーパック( L )搭載時は約1.57kg。<sup>\*8</sup> 情報処理装置等電波障害自主規制協議会基準。

#### ソフトウェアカスタマイズによりお客様の要望に合わせたシステムを提供します。

##### 主なカスタマイズメニュー

- ・VPNクライアント: お客様ご指定のVPNクライアントを組み込みます。
- ・通信カード対応: お客様ご指定の通信カードのドライバ、管理ソフトウェアなどを組み込みます。
- ・簡易認証モデル: KeyMobileなしの動作を可能にします。
- ・オフラインモ機能: 電波が届かない地下鉄の車内などで思いいついた用件などをネットワークに接続しなくてもテキスト入力できます。

データは暗号化してKeyMobileへ保存しますが、KeyMobileを紛失すると情報が漏えいする恐れがあります。充分ご理解の上でご利用ください。

## FLORA bd100

100台以上のパソコンをひとつのラックに集約。

### FLORA bd100

クライアントモジュール



#### 高密度設計を実現

1台のベースユニットに最大14枚のクライアントモジュールを搭載し、100台以上のPCをフルラックに集約できます。

#### セキュリティPCとの組み合わせにより、通常レベルの操作性を実現

セキュリティPC「FLORA Seシリーズ」との通信には、JP1/NETM/DM Clientを使用することにより、画面情報やキーボード/マウス情報などを高速に受信できます。

#### Windows Vista<sup>®</sup> Businessに対応

インテル<sup>®</sup> Core<sup>™</sup> Duo プロセッサー搭載モデルはWindows Vista<sup>®</sup> Businessに対応。生産性の向上、セキュリティ強化、さらにTCOの削減を実現します。

TCO: Total Cost of Ownership

ベースユニット



#### FLORA bd100の運用管理を支援する「ブレードPCコントロールfor FLORA bd100」(別売)<sup>\*</sup>

- ・セキュリティPCからインターネット/イントラネット経由でFLORA bd100の電源制御( オン/オフ/リセット )を行えます。
- ・FLORA Seシリーズと占有しているブレードを自動的に割当接続します。また、ActiveDirectoryと統合ストレージを使ったサービスとの組み合わせにより、FLORA Seシリーズとブレードの動的割当もできます。
- ・FLORA bd100障害時に別のブレードを割り当てることが可能。また、障害復旧時には元のブレードと接続することができます。
- ・統合システム運用管理「JP1」の資産管理機能との連携により、管理画面からブレードの状態確認、電源操作、障害ブレードの表示などシステム管理者の操作、判断を支援します。

<sup>\*</sup> 本ソフトウェアの導入には「JP1/NETM/Asset Information Manager for BladePC」が別途必要です。

#### 基本モデル仕様

形名	FLORA bd100クライアントモジュール	
	Windows Vista <sup>®</sup> Business リカ/リDVDあり	Windows <sup>®</sup> XP Professional リカ/リCDあり
OS	Windows Vista <sup>®</sup> Business Blade PC Edition ( 1RD L Version ) / Windows <sup>®</sup> XP Professional Blade PC Edition( 1RD L Version )	Windows <sup>®</sup> XP Professional Blade PC Edition ( 1RD L Version )
CPU	インテル <sup>®</sup> Core <sup>™</sup> Duo プロセッサー T2300E	インテル <sup>®</sup> Celeron <sup>®</sup> M プロセッサー-420
周波数	1.66GHz	1.60GHz
2次キャッシュメモリ( CPU内蔵 )	2MB	1MB
システムバスクロック	667MHz	533MHz
チップセット	インテル <sup>®</sup> 82945GM チップセット	
メインメモリ	1,024MB( 固定 )( DDR2 Unbuffered Non ECC, ビデオRAMと共用 ) / 512MB( 固定 )( DDR2 Unbuffered Non ECC, ビデオRAMと共用 )	
ビデオサブシステム	インテル <sup>®</sup> 82945GM チップセット内蔵	
表示解像度( 表示色数 )	最大128MB( 自動変動、メインメモリと共用 ) 最大1600×1,200ドット( 32bit true Color )	
内蔵HDD	容量 回転数 インタフェース	80GB 4,200rpm UltraATA/100
サウンド機能	AC97準拠	
通信インタフェース	LAN 1000BASE T/100BASE TX/10BASE T x2 自動認識( RJ45 )	
外部 インタフェース ( KVMポート )	キーボード USB1.1or 2.0×1 マウス USB1.1or 2.0×1 FDD/CD-ROMドライブ USB1.1or 2.0×1( 本ポートにFDD/CD ROMドライブを接続し起動した場合、このドライブからブートアップ可能 ) ディスプレイモニタ アナログRGB( 15ピン )×1	
外形寸法 W×D×H 質量	28.4×387×126mm 1.16kg	
消費電力( 最大/スタンバイ時 )	B5: 約23W( 45W/約7.2W ) B4: 約27W( 46W/約7.2W )	約22W( 32W/約7.1W )
省エネ法に 基づく表示	区分 エネルギー消費効率 <sup>*1</sup>	k B5: 0.0015 <sup>*2</sup> 、B4: 0.0016 <sup>*2</sup> 0.0027 <sup>*2</sup>
セッティング	FLORA bd100ベースユニット	
セッティング	GY SRF1021N 4	
筐体タイプ	ラックマウント専用	
ブレード搭載枚数	14枚	
外形寸法 W×D×H	426×739.2×130mm( 3U )	
質量 <sup>*3</sup>	21.8kg( ベースユニット+ラックレール )、最大38.8kg( ブレードフル搭載+フロントパネル搭載時 )	
ファン	CPUファン×4( 標準 ) AC100V、入力2系統	
電源	電圧 ユニット数 消費電力( 最大 ) <sup>*4</sup>	2台( 標準 ) 640W
VCCI基準 <sup>*5</sup>	クラスA情報技術装置	

<sup>\*1</sup> エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める推定消費電力から除いたものです。<sup>\*2</sup> クライアントモジュール1枚あたりの値。<sup>\*3</sup> クライアントモジュールを搭載しないスロットにはダミープラケットが必要です。ダミープラケット質量=0.48kg/枚。<sup>\*4</sup> クライアントモジュールA4モデル×14枚搭載時の最大消費電力:440W、クライアントモジュールB5/B4モデル×14枚搭載時の最大消費電力:640W、電源は19V/2台搭載時。<sup>\*5</sup> 情報処理装置等電波障害自主規制協議会基準。クラスA情報技術装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合は、使用者が適切な対策を講じるよう要求されることがあります。詳しい製品仕様(注記)などはURLを必ずご確認ください。http://www.hitachi.com.jp/florabd/

